

鶴見大學佛教文化研究所モノグラフシリーズⅠ

石山寺
一切經本

『續高僧傳』卷八

— 翻刻と書誌學的研究 —

池 麗梅 著

發刊の辭

この度、當研究所では、いっそうの研究活動の充實と推進を圖るため、「鶴見大學佛教文化研究所モノグラフシリーズ」を、年に一冊のペースで刊行していくこととなった。順次上梓される豫定のものには、本學が所藏する貴重な諸文献のうち、とくに重要な佛教書、あるいは佛教文化に関連する著述についての研究であり、必要に応じてその原本の影印・翻刻・翻譯等も併せて掲載することとしている。

このシリーズの第一回を飾る研究は、當研究所専任研究員・池麗梅准教授の手になり、〈石山寺一切經本『續高僧傳』卷八―翻刻と書誌學的研究―〉と題される、寫本一切經の一本『續高僧傳』卷八の研究である。

唐・道宣撰『續高僧傳』は、もっとも基本的な佛教史書の一つとして有名であるが、本書『續高僧傳』卷八は、それ自體として文化財的にきわめて高い價值をもつことはいままでもない。また、ここに收められる池准教授の研究を通じて、本書が『續高僧傳』の成立當初の姿やその傳承の系譜に關して、強く再考を促す重要な資料でもあることが明らかとなっている。當研究所の所長として、まことに嬉しい學問的成果である。

著者の池麗梅准教授に對し、深甚の謝意を表するとともに、本シリーズの刊行が豫定通り順調に續き、多くの佛教學ないし人文學の研究者たちを裨益してくれることを心から期待している。

平成二十六年二月吉日

鶴見大學學長

鶴見大學佛教文化研究所所長

木村 清孝 識

目次

カラー口繪

發刊の辭

.....

木村 清孝

鶴見大學藏石山寺一切經本『續高僧傳』卷八 影印・翻刻

.....

1

鶴見大學藏石山寺一切經本『續高僧傳』卷八 解題

.....

39

『續高僧傳』卷八所收「慧遠傳」諸本校異

.....

43

石山寺一切經本『續高僧傳』の系譜——鶴見大學藏卷八に関する所見——

.....

55

著 者

池 麗梅 (CHI, Limei)

中國吉林省吉林市生まれ。東京大學博士 (文學)

専門は中國中世佛教史、佛教における遺身實踐の研究。

現在、鶴見大學佛教文化研究所准教授。

鶴見大學佛教文化研究所モノグラフシリーズ I

石山寺一切經本『續高僧傳』卷八

― 翻刻と書誌學的研究 ―

平成二十六年 (二〇一四) 年二月十九日發行 (非賣品)

編集・發行 鶴見大學佛教文化研究所

(神奈川県横濱市鶴見區鶴見二―一―三)

印刷・製本 株式会社D―サイト

(神奈川県横濱市神奈川区新子安一―三五―一〇)

本書の一部を無断にて轉載・複製することを禁じます。

©二〇一四年 鶴見大學佛教文化研究所